

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果を踏まえた
小学校算数科の指導方法等の改善計画

【東広島市立もみじ小学校】

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果（平均正答率　％）

測定：変化と関係　　自校（33.3）　　広島県（50.8）　　全国（51.7）

I　正答率の低い問題（下位3問）

【測定：変化と関係】

問題番号4（2）　正答率　33.3％

3分間で18cm歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書く。

【測定：変化と関係】

問題番号4（4）－　正答率33.3％

家から図書館までの自転車の速さが分速何m化を書く。

【測定：変化と関係】

問題番号4（3）　正答率33.3％

家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く。

II　考えられる主な原因

- 【測定：変化と関係】
- 3分間で18cm歩くことを基に、1800mを歩くのにかかる時間を書くことができない。
- ①　3分間で18m歩くことと、x時間で1800m歩くことが比例の関係であることが理解できない。

②　分から時間への換算ができない。

III　解決に向けた授業改善等の取組

- 【測定：変化と関係】
- ・持久走等で走った時間を記録させ、時間の量感を育てる。

・実生活の中で比例関係になっていることを取り出し、その問題を解く取り組みをする。

・教科書の教材文を読んだ後に、自分の思いを発表したり書いたりする取り組みを行う。

IV　今年度の目標

	6年生
学年末に比例の問題をする。	66％
学年末に変化と関係の問題をする。	66％